

蛍光灯 製造終了へ 迫る2027年問題

(情報提供：株式会社 大塚商会)

LED化が加速 ～蛍光灯の製造・輸出入が禁止に～

「水銀に関する水俣条約」の第5回締約国会議にて、直管蛍光灯の製造・輸出入を2027年末までに禁止することが合意されました。2026年末での製造・輸出入禁止が既に決まっている電球形&コンパクト形蛍光灯と合わせ、全ての一般照明用蛍光灯の製造終了が見込まれます。

現在蛍光灯を製造している主要メーカーはパナソニック、東芝ライテック、ホタルクスの3社のみです。蛍光灯は、原材料価格、物流コスト、海外での人件費高騰などを理由に生産終了や値上げが進行しており、ここ数年は3社ともに値上げを繰り返している状況です。

また蛍光灯だけではなく、LED照明も値上げが続いています。こちらの理由は世界情勢による樹脂・鋼材等の製品に必要な材料価格高騰。蛍光灯の2027年問題に加え、LED照明の値上げが続くと“駆け込み需要”によりLED化工事日程調整が困難になります。毎日使う必需品である照明が、工事日によって仕事の作業を制限されてしまう可能性もあります。

蛍光灯は2027年末までに製造・輸出入禁止!

2019

蛍光灯器具



製造中止

2020

水銀灯



製造・輸出入中止

2026

電球形蛍光灯
コンパクト形蛍光灯



製造・輸出入中止

2027

直管形蛍光灯



製造・輸出入中止

2026年末での製造・輸出入禁止が既に決まっている電球形&コンパクト形蛍光灯と合わせ、**全ての一般照明用蛍光灯の製造終了が見込まれます。**

*蛍光灯の製造と輸出入は禁じられますが、2028年以降も使用や在庫品販売は継続できます

早めのLED化をオススメします！

《理由その①》駆け込み需要による**蛍光灯の値上げと品不足**

《理由その②》原材料の高騰による**LED照明の値上がり**

《理由その③》需要の高まりによる**LED化工事日程の確保の困難**



気づいていない？

値上げだけじゃない**蛍光灯**の危険性やデメリット



災害のイメージできてますか？

LED照明の素材は、**ガラス管**ではなく**ポリカーボネート**を使用しています。そのため、ランプが破損しても**飛散しない**特性があります。地震により蛍光灯が落下するといったリスクの備えになります。

蛍光灯のデメリット

消費電力がLED照明の**3.5倍も！電気代が高い…**

消費電力：**42W**

一般的な蛍光灯ランプ



消費電力：**11.9W**

直管形のLED照明



他にも潜んでいるデメリット



**交換の
作業が多い**



蛍光灯寿命：12000時間
LED照明寿命：40000時間



割れやすい



蛍光灯素材：ガラス管
LED照明素材：ポリカーボネート



**発熱量が
多い**



**点灯に
数秒かかる**



**虫が
寄って
やすい**

組合員の皆様へ

院内の照明設備に蛍光ランプをご使用の場合は、ご確認ください。

すべての一般照明用蛍光ランプが2027年末までに製造等が禁止になります。

製造等禁止の詳細につきましては、「[一般社団法人 日本照明工業会](#)」のホームページをご参照ください。

蛍光ランプがなくなる前にLED照明器具への交換をお勧めいたします。

この機会にLEDランプをご検討されてはいかがでしょうか。

医師協同組合では、必要に応じて現地調査を実施し、ご提案させていただきます。

現地調査をご希望の医療機関及び関連施設は、下記に必要事項をご記入のうえ、FAX(099-257-1816)にてお送りください。後以ってご連絡いたします。

なお、現地調査の際は、交通費等の実費をご負担いただきますのでご了承ください。

医療機関名			
ご住所			
ご連絡先	電話:	FAX:	ご担当者
☐ 現地調査希望 ☐ 相見積希望 ※ ☐ に✓を付してご返信下さい。			

「割賦(分割払い)」がご利用できます。詳細は下記宛お問い合わせください。

お問合せ先:医協/購買・保険係 TEL:099-254-8126 FAX:099-257-1816